

(様式第 9)

香大医医第 ( )  
平成 25 年 1 ( )

厚生労働大臣

殿

開設者名 国立大学法  
長尾 省

香川大学医学部附属病院の業務に関する報告について

標記について、医療法（昭和 23 年法律第 205 号）第 12 条の 3 の規定に基づき、平成 24 年度の業務  
に関して報告します。

記

- 1 高度の医療の提供の実績 → 別紙参照(様式第 10)
- 2 高度の医療技術の開発及び評価の実績 → 別紙参照(様式第 11)
- 3 高度の医療に関する研修の実績

研修医の人数	100人
--------	------

(注) 前年度の研修医の実数を記入すること。

- 4 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の体系的な管理方法  
→ 別紙参照(様式第 12)
- 5 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び閲覧の実績
- 6 他の病院又は診療所から紹介された患者に対する医療提供の実績  
→ 別紙参照(様式第 13)

7 医師、歯科医師、薬剤師、看護師及び准看護師、管理栄養士その他の従業者の員数

職種	常勤	非常勤	合計	職種	員数	職種	員数
医師	205人	129人	298.9人	看護補助者	56人	診療エックス線技師	0人
歯科医師	5人	4人	8.3人	理学療法士	8人	臨床検査技師	34人
薬剤師	26人	3人	29.0人	作業療法士	4人	衛生検査技師	0人
保健師	0人	0人	0.0人	視能訓練士	5人	その他	0人
助産師	39人	0人	39.0人	義肢装具士	0人	あん摩マッサージ指圧師	0人
看護師	506人	29人	532.3人	臨床工学技士	11人	医療社会事業従事者	0人
准看護師	0人	0人	0.0人	栄養士	0人	その他の技術員	5人
歯科衛生士	2人	0人	2.0人	歯科技工士	1人	事務職員	105人
管理栄養士	6人	4人	10.0人	診療放射線技師	29人	その他の職員	17人

- (注) 1 報告を行う当該年度の 10 月 1 日現在の員数を記入すること。
- 2 栄養士の員数には、管理栄養士の員数は含めないで記入すること。
- 3 「合計」欄には、非常勤の者を当該病院の常勤の従事者の通常の勤務時間により常勤換算した員数と常勤の者の員数の合計を小数点以下 2 位を切り捨て、小数点以下 1 位まで算出して記入すること。それ以外の欄には、それぞれの員数の単純合計員数を記入すること。

8 入院患者、外来患者及び調剤の数

歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科の入院患者及び外来患者の数

	歯科等以外	歯科等	合計
1日当たり平均入院患者数	446.8人	6.9人	453.7人
1日当たり平均外来患者数	895.4人	47.3人	942.7人
1日当たり平均調剤数			569.1剤

- (注) 1 「歯科等」欄には、歯科、矯正歯科、小児歯科及び歯科口腔外科を受診した患者数を、「歯科等以外」欄にはそれ以外の診療科を受診した患者数を記入すること。
- 2 入院患者数は、年間の各科別の入院患者延数(毎日の 24 時現在の在院患者数の合計)を暦日で除した数を記入すること。
- 3 外来患者数は、年間の各科別の外来患者延数をそれぞれ病院の年間の実外来診療日数で除した数を記入すること。
- 4 調剤数は、年間の入院及び外来別の調剤延数をそれぞれ暦日及び実外来診療日数で除した数を記入すること。





## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	自己免疫性血球減少症に対するリツキシマブ療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 自己免疫性血球減少症の難治例の予後改善を目的とする。自己免疫性血球減少症は生命予後に大きく関わる病態であること、ステロイド剤が減量困難なことから引き起こされる感染症等の合併症もまた長期予後の規定するものであることより本治療による病態の改善は有用性が高いと考えられる。			
医療技術名	顆粒球輸注	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 造血幹細胞移植前に重症感染症を併発した症例を対象に、血液型一致血縁者をドナーとして顆粒球を採取しそれを輸注することで感染症治療の細胞療法を実施する。			
医療技術名	Cushing病に対する海綿静脈洞サンプリング	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 Cushing病(特定疾患)患者の原因病巣が下垂体にあることの確認として、海綿静脈移動より採血(サンプリング)を行い末梢とのACTH濃度勾配をみる。脳神経外科、放射線科と協力して行っている。			
医療技術名	原発性アルドステロン症に対するACTH負荷副腎静脈サンプリング	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 原発性アルドステロン症の局在診断のため、左右の副腎静脈より採血(サンプリング)を行う。放射線科と協力して行っている。			
医療技術名	先端巨大症に対するオクトレオチド投与	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 先端巨大症(特定疾患)に対し脳神経外科にて経蝶形骨洞下垂体腫瘍摘出術後に十分なGH低下が得られない症例に対し、オクトレオチド皮下注射による治療を行う。			
医療技術名	15O-H <sub>2</sub> O 心臓PET検査	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 左心筋血流量を定量評価し、心筋虚血重症度診断を行うもの			
医療技術名	大動脈内バルーンパンピング法	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 低左心機能症例に対して左室補助を行うもの			
医療技術名	経皮的心肺補助	取扱患者数	10人
当該医療技術の概要 低左心機能症例、致死性不整脈、肺循環器障害症例に対して心肺補助を行うもの			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	心臓再同期療法	取扱患者数	8人
当該医療技術の概要 低左心機能症例に対して左室リードを追加し左心機能を改善させるもの			
医療技術名	術後腸管に対するダブルバルン内視鏡を用いたERCP	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 術後腸管のため通常ERCPが困難な症例に対してダブルバルン内視鏡を用いてERCPを施行する			
医療技術名	感染性膵壊死に対する内視鏡的ネクロセクトミー	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 感染のコントロールがつかない膵壊死に対して内視鏡的に壊死物質を取り除く			
医療技術名	肝癌合併腎障害患者に対する炭酸ガス併用抗ガン剤注入療法	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 造影剤を使用できない腎障害患者の肝癌治療を炭酸ガスを用いて行う			
医療技術名	腹腔鏡補助下胃全層切除術(EFTR)	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 胃内発育型間葉系腫瘍に対して、軟性内視鏡による胃全層切除にて臓器温存を目指した最小限の局所切除を行う			
医療技術名	大腸内視鏡的粘膜下層剥離術	取扱患者数	49人
当該医療技術の概要 大腸腫瘍に対して、ESDによる一括根治切除を行う			
医療技術名	ファブリー病の酵素補充療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 心ファブリー病の心不全患者に対して、点滴による酵素補充を行い、心不全増悪予防を行っている。			
医療技術名	皮膚悪性腫瘍の色素法、RI法併用によるセンチネルリンパ節生検	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 色素法とRI法を併用してセンチネルをみつけ、切除する。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	皮膚悪性腫瘍の集学的治療	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 皮膚悪性腫瘍の手術、化学療法、放射線治療、緩和ケアなどによる治療。			
医療技術名	悪性黒色腫の5S-CD値によるフォロー	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 腫瘍マーカーである5-S-CD値を定期的に測定し、経過フォローに役立てる。			
医療技術名	乾癬患者に対する生物学的製剤(抗TNF- $\alpha$ )による治療	取扱患者数	13人
当該医療技術の概要 乾癬患者に対し、生物学製剤を用いて治療を行う			
医療技術名	新しい光源による新生児高ビリルビン血症に対する光療法	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 LED光源を用いた、ビリルビンを体外排出型に構造変化させる新しい新生児高ビリルビン血症に対する、より効果的な光療法を行う。			
医療技術名	ビリルビンの精密解析	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 ビリルビンの光異性体、抱合体を高速液体クロマトグラフィーを用いて高精度分析し、新生児高ビリルビン血症の病因、治療効果判定に用いる。			
医療技術名	光学的非侵襲的脳代謝・循環の測定	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 神経学的後遺症の軽減を目的とした、近赤外分光測定法を用いて、新生児の脳循環、代謝を評価。			
医療技術名	新生児溶血性黄疸に対するガンマグロブリン療法	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 高度新生児黄疸の原因となる溶血性黄疸を、非侵襲的に光を利用した黄疸計で早期に発見し、光療法と共にガンマグロブリン療法を行い、交換輸血を回避させる治療。			
医療技術名	脳分離循環を伴う胸部大動脈瘤手術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 脳分離循環を伴う胸部大動脈瘤手術			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	末期の心臓病に対する外科手術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 人工心臓・心臓移植の適応を考慮する末期の心臓病患者に対する僧帽弁手術・左室形成術			
医療技術名	肝切除手術における画像ナビゲーション	取扱患者数	20人
当該医療技術の概要 画像支援ナビゲーションシステム(VINSENT)により、肝切除における安全性の向上を図っている。			
医療技術名	Hybrid-NOTESによる胃局所切除	取扱患者数	7人
当該医療技術の概要 内科Dr.と共同で、軟性内視鏡+腹腔鏡を用いた新しい低侵襲手術を行っている。			
医療技術名	乳癌再建を伴う乳癌手術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 形成外科と協力し、乳房再建を伴う乳癌手術を行う。			
医療技術名	気管・気管支形成を伴う肺手術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 肺悪性腫瘍に対し、気管・気管支形成術を伴う肺手術を行う。			
医療技術名	肺癌患者に対する遺伝子解析に基づいた化学療法	取扱患者数	30人
当該医療技術の概要 肺癌に対し、遺伝子解析を行い、これに基づいた化学療法を行う。			
医療技術名	悪性胸膜中皮腫に対する胸膜肺全摘術	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 悪性胸膜中皮腫に対し、胸膜肺全摘術を行う。			
医療技術名	関節リウマチに対する手術的治療	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 人工関節置換術、切除、関節形成など			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	悪性骨軟部腫瘍に対する患肢温存手術	取扱患者数	25人
当該医療技術の概要 悪性骨軟部腫瘍に対する患肢温存手術			
医療技術名	大腿骨頭壊死症の手術療法	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 人工股関節置換術			
医療技術名	皮膚、筋、骨など血管付多臓器移植術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 皮膚、筋、骨など血管付多臓器移植術			
医療技術名	人工股関節術後の高度骨欠損に対する再置換術	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 人工股関節術後の高度骨欠損に対する再置換術			
医療技術名	顔面神経麻痺形成手術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 顔面神経麻痺に対するネットワーク型神経移植			
医療技術名	遊離皮弁術、遊離複合組織移植術	取扱患者数	22人
当該医療技術の概要 顕微鏡下血管吻合を用いた組織移植			
医療技術名	顔面多発骨折観血的手術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 顔面多発骨折に対する観血的整復固定術			
医療技術名	遠位血行再建術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 膝以下の重症下肢虚血に対するバイパス手術			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。



(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	多血小板血漿療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 難治性潰瘍に対する多血小板血漿を用いた治療			
医療技術名	陰圧閉鎖療法	取扱患者数	18人
当該医療技術の概要 皮膚欠損、組織欠損、難治性潰瘍に対する陰圧閉鎖療法			
医療技術名	陰茎海綿体神経再生による勃起能回復を目的とした神経移植術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 前立腺癌の手術療法の大きな副作用の1つに勃起不全があり、QOLを損なう原因となる。その対策として、腓腹神経の自家移植を行い、勃起機能の回復を図る。			
医療技術名	抗悪性腫瘍剤治療における薬剤耐性遺伝子検査	取扱患者数	12人
当該医療技術の概要 悪性脳腫瘍患者に対する抗悪性腫瘍剤耐性遺伝子を検索することにより、個々の患者に効果があり、さらに副作用の軽減を目的とした治療である。			
医療技術名	重症脳卒中および重症頭部外傷に対する脳低温療法	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 重症脳卒中および重症頭部外傷に対して、脳保護を目的とした脳低温療法。			
医療技術名	脳神経外科手術に対する術中ナビゲーション	取扱患者数	67人
当該医療技術の概要 手術において、術中ナビゲーションを用いることで、摘出部位や残存腫瘍が把握でき、さらに電気刺激部位の確認による機能温存を考慮した治療法である。			
医療技術名	脳神経外科手術における神経モニタリング	取扱患者数	69人
当該医療技術の概要 脳神経外科手術において、重要な脳神経が損傷されないように、神経を電気刺激してその反応を確認しながら手術を行うことで、より安全確実な手術ができる。			
医療技術名	5-アミノレブリン酸を用いた脳腫瘍手術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 脳腫瘍手術において、周囲脳との境界が不明瞭な腫瘍では摘出範囲を決定するのが困難であるが、術前に患者にアミノレブリン酸を投与し、術中に偏光顕微鏡を用いることで腫瘍が蛍光認識できるため、確実に腫瘍を摘出することができる。			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

## (様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

## 3 その他の高度の医療

医療技術名	ICGを用いた脳血管障害手術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 脳血管障害の手術において、術中に血行動態を把握するのは通常困難であるが、術中にICGを静脈投与して偏光顕微鏡で観察することで血管が蛍光認識できるため、安全確実に手術を行うことができる。			
医療技術名	脳動脈瘤に対するステントを併用したコイル塞栓術	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 脳動脈瘤の中で、サイズの大きなものや頸部が広いものはコイルのみでの塞栓術は困難であり、ステントを併用することでより確実なコイル塞栓術を行うことができる。			
医療技術名	脳動静脈奇形に対するOnyx embolic systemを用いた塞栓術	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 脳動静脈奇形は治療が困難な疾患であるが、液体塞栓物質であるOnyx embolic systemを用いた塞栓術を行うことで、脳動静脈奇形を消失させたり、塞栓術後の摘出術や定位放射線治療の成績を向上させたりすることができる。			
医療技術名	脳梗塞急性期における機械的血栓回収療法	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 脳梗塞急性期における治療はrt-PA治療であるが、これに反応しない症例などに対して、様々な血栓回収器材を用いて閉塞した血管を再開通させることができる。			
医療技術名	神経内視鏡下経鼻的下垂体手術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 下垂体腺腫等の手術において、従来の顕微鏡を用いた手術にかわり、経鼻的に神経内視鏡を用いることにより、良好な術野で侵襲の少ない手術が可能である。			
医療技術名	増殖硝子体網膜症手術	取扱患者数	23人
当該医療技術の概要 増殖硝子体細胞症に対して、高度な手術技術を要する手術である。			
医療技術名	人工内耳	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 高度難聴者(児)に音声言語を獲得するために人工内耳装置を内耳(蝸牛)に埋め込みリハビリを行う。当該期間中に2名の幼児、1名の成人に実施した。			
医療技術名	肝癌に対する肝動脈塞栓療法	取扱患者数	92人
当該医療技術の概要 肝癌に対してカテーテルを利用して肝動脈塞栓手術を行う			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	肝・骨盤部悪性腫瘍に対するリザーバー設置術	取扱患者数	11人
当該医療技術の概要 肝・骨盤部悪性腫瘍に対するリザーバー設置術			
医療技術名	高進ヘリカルCTによる3次元画像	取扱患者数	1,556人
当該医療技術の概要 高進ヘリカルCTによる3次元画像			
医療技術名	血栓吸引療法(ペナンブラ)	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 脳梗塞治療としてペナンブラシステムを用いて治療する。			
医療技術名	人工心肺装置(補助循環)	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 院外心肺停止症例に対し高度な2次救命装置の最終手段として行う治療法			
医療技術名	脳低温療法	取扱患者数	6人
当該医療技術の概要 心肺停止後脳症、重症頭部外傷、重症くも膜下出血など、患者の2次的脳損傷を軽減するために行う治療法。			
医療技術名	重症広範囲熱傷に対する植皮術(とくにジェイスを用いる)	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 全身管理の難しい重症広範囲熱傷に対し、デブリドメント・植皮術を行い、その後の全身管理を行う。特に新しく導入されたジェイス(自己培養皮膚)を用いた治療を行う。			
医療技術名	口腔癌における再建手術	取扱患者数	3人
当該医療技術の概要 口腔癌における再建手術			
医療技術名	口腔癌における超選択的動注化学療法	取扱患者数	5人
当該医療技術の概要 口腔癌における超選択的動注化学療法			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

## 高度の医療の提供の実績

### 3 その他の高度の医療

医療技術名	歯の欠損に対する口腔インプラント治療	取扱患者数	14人
当該医療技術の概要 歯の欠損に対する口腔インプラント治療			
医療技術名	内視鏡下唾石摘出術	取扱患者数	4人
当該医療技術の概要 内視鏡下唾石摘出術			
医療技術名	内視鏡下歯根端切除術	取扱患者数	21人
当該医療技術の概要 内視鏡下歯根端切除術			
医療技術名	多発性内分泌腺腫症 I 型の遺伝子診断	取扱患者数	2人
当該医療技術の概要 MEN I 型の原因遺伝子meninのdirect-sequenceにて遺伝子異常の有無を検査			
医療技術名	多発性内分泌腺腫症 II 型の遺伝子診断	取扱患者数	1人
当該医療技術の概要 MEN II 型の原因遺伝子retのdirect-sequenceにて遺伝子異常の有無を検査			
医療技術名	免疫抗体によるHER2染色	取扱患者数	84人
当該医療技術の概要 転移性乳癌や乳癌術後及び進行・再発胃癌の補助化学療法			
医療技術名	EBER in situ hybridization 検査	取扱患者数	15人
当該医療技術の概要 バーキットリンパ腫・上咽頭癌・ホジキンリンパ腫・T/NKリンパ腫移植後リンパ増殖異常の感染証明			
医療技術名	セカンドオピニオン	取扱患者数	151人
当該医療技術の概要 院外で診断された組織化学的検査のセカンドオピニオン			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 3 その他の高度の医療

医療技術名	免疫抗体によるALK染色	取扱患者数	9人
当該医療技術の概要 非扁平上皮癌の治療に有効な分子標的治療薬適用のため			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			
医療技術名		取扱患者数	人
当該医療技術の概要			

(注) 当該医療機関において高度の医療と判断するものが他にあれば、前年度の実績を記入すること。

(様式第10)

### 高度の医療の提供の実績

#### 4 特定疾患治療研究事業対象疾患についての診療

疾患名	取扱患者数	疾患名	取扱患者数
・ベーチェット病	40人	・膿疱性乾癬	7人
・多発性硬化症	72人	・広範脊柱管狭窄症	2人
・重症筋無力症	74人	・原発性胆汁性肝硬変	62人
・全身性エリテマトーデス	113人	・重症急性膵炎	6人
・スモン	1人	・特発性大腿骨頭壊死症	17人
・再生不良性貧血	22人	・混合性結合組織病	24人
・サルコイドーシス	34人	・原発性免疫不全症候群	1人
・筋萎縮性側索硬化症	21人	・特発性間質性肺炎	4人
・強皮症, 皮膚筋炎及び多発性筋炎	128人	・網膜色素変性症	16人
・特発性血小板減少性紫斑病	42人	・プリオン病	2人
・結節性動脈周囲炎	32人	・肺動脈性肺高血圧症	3人
・潰瘍性大腸炎	64人	・神経線維腫症	16人
・大動脈炎症候群	18人	・亜急性硬化性全脳炎	0人
・ピュルガー病	6人	・バッド・キアリ(Budd-Chiari)症候群	1人
・天疱瘡	10人	・慢性血栓塞栓性肺高血圧症	5人
・脊髄小脳変性症	29人	・ライソゾーム病	4人
・クローン病	38人	・副腎白質ジストロフィー	0人
・難治性の肝炎のうち劇症肝炎	4人	・家族性高コレステロール血症(ホモ接合体)	0人
・悪性関節リウマチ	17人	・脊髄性筋萎縮症	0人
・パーキンソン病関連疾患(進行性核上性麻痺、 大脳皮質基底核変性症及びパーキンソン病)	148人	・球脊髄性筋萎縮症	0人
・アミロイドーシス	5人	・慢性炎症性脱髄性多発神経炎	21人
・後縦靭帯骨化症	33人	・肥大型心筋症	2人
・ハンチントン病	6人	・拘束型心筋症	0人
・モヤモヤ病(ウイリス動脈輪閉塞症)	23人	・ミトコンドリア病	4人
・ウェゲナー肉芽腫症	14人	・リンパ脈管筋腫症(LAM)	1人
・特発性拡張型(うっ血型)心筋症	24人	・重症多形滲出性紅斑(急性期)	3人
・多系統萎縮症(線条体黒質変性症、オリブ橋 小脳萎縮症及びシャイ・ドレーガー症候群)	38人	・黄色靭帯骨化症	4人
・表皮水疱症(接合部型及び栄養障害型)	3人	・間脳下垂体機能障害 (PRL分泌異常症、ゴナドトロピン分泌異常症、ADH分泌異常症、下垂体性TSH分泌異常症、クッシング病、先端巨大症、下垂体機能低下症)	91人

(注) 「取扱患者数」欄には、前年度の年間実患者数を記入すること。



(様式第11)

高度の医療技術の開発及び評価を行う能力を有することを証する書類

## 1 研究費補助等の実績

研究課題名	研究者氏名	所属部門	金額(円)	補助元又は委託元
悪性脳腫瘍に対する薬剤耐性遺伝子を用いた遺伝子・タンパク治療の研究	田宮 隆	脳神経外科学	3,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
ガレクチン9による免疫制御性マクロファージの誘導とその機構	平島 光臣	消化器・神経内科学	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
転移性肝癌におけるマイクロRNAを標的分子とした治療法開発のための基礎的研究	正木 勉	消化器・神経内科学	100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
AMLの低酸素環境下抗がん剤耐性の機序解明と低酸素選択的薬剤による根治療法の開発	松永 卓也	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科学	900,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
軽度認知障害の睡眠構造とアルツハイマー病移行との関係について	新野 秀人	精神神経医学	100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
PET分子イメージングによる脳腫瘍の不均一性評価の研究	西山 佳宏	放射線医学	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
薬剤耐性腫瘍に対する標的分子抑制ベクターによる抗腫瘍剤増感療法	劉 大革	呼吸器・乳腺内分泌外科学	1,000,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
メニエール病発症におけるβアドレナリン受容体の役割に関する研究	森 望	耳鼻咽喉科学	1,100,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
経時的脳内酸化ストレス評価に基づく重症脳障害患者の抗酸化治療の有効性に関する研究	黒田 泰弘	救急災害医学	700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
再生医療を応用した乳幼児肺移植技術の開発	横見瀬 裕保	呼吸器・乳腺内分泌外科学	4,600,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
PSA監視療法中の前立腺癌患者の病勢増悪予測指標としてのp2PSAの有用性の検討	笥 善行	泌尿器科学	8,300,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
二層法と希少糖を駆使した膵島移植成績向上のための研究	鈴木 康之	消化器外科学	500,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
術後機能的健康状態回復促進因子の検討	白神 豪太郎	麻酔学	700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
in vivo EPR Dosimetryの生体への応用	三宅 実	歯科口腔外科学	700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金
肥満における動脈周囲脂肪組織の挙動と粥状硬化巣の病勢との関連に関する研究	大森 浩二	循環器・腎臓・脳卒中内科学	1,700,000	補 委 文部科学省科学研究費補助金



近赤外線分光法および電流知覚閾値を用いた新しいパーキンソン病診断法の開発	出口 一志	消化器・神経内科学	1,000,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
ステロイドによる表皮細胞と血管内皮細胞におけるカペオリン1発現調節	窪田 泰夫	皮膚科学	1,500,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
抗認知症薬の薬効評価における全般臨床評価法についての研究	中村 祐	精神神経医学	1,700,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
進行性腎細胞癌に対するLexatumumab併用テムシロリムス療法の開発	呉 秀賢	泌尿器科学	2,200,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
ヒト乳頭腫ウイルス関連頭頸部癌に対する低侵襲な治療法の開発にむけて	星川 広史	耳鼻咽喉科学	1,200,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
生理学的モデルに基づいたバーチャルリアリティによる舌癌手術訓練装置の構築	松井 義郎	歯科口腔外科学	2,900,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
高周波超音波を用いた組織歪み評価に基づく新しい心血管組織硬さ計測法の開発	千田 彰一	総合診療部	2,700,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
網羅的プロテオーム解析を用いた膵臓癌の発癌と転移機序の解明とバイオマーカーの開発	谷内田 真一	消化器外科	4,800,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
F-18 FLT PETを用いた消化器癌の分子イメージングの研究	亀山 麗子	放射線診断科	998,467	補委	文部科学省科学研究費補助金
低酸素性虚血性脳症の水素投与と酸素調節での活性酸素減少を目的とした治療戦略の確立	日下 隆	総合周産期母子医療センター	1,100,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
ダブルノックアウトマウスを利用したアトピー性皮膚炎モデルマウスの作製	米田 耕造	皮膚科	300,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
肺癌における低酸素細胞陽性描画を目的としたPET分子イメージング研究	山本 由佳	放射線診断科	1,000,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
胃瘻からの半固形化栄養材注入法の機序と臨床的意義の検討	合田 文則	総合診療部	400,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
自家骨髄由来幹細胞とbFGF徐放ゼラチンビーズによる肺気腫の新しい治療の研究	垂水 晋太郎	呼吸器・乳腺内分泌外科学	500,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
希少糖の経口摂取による侵襲抑制効果の検討	浅賀 健彦	集中治療部	100,000	補委	文部科学省科学研究費補助金

肺癌細胞の転移浸潤能におけるサイトケラチン8分子の機能解析	石井 知也	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科	500,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
臨床医療におけるオントロジー概念を用いた高次音声認識システムの開発	横井 英人	医療情報部	1,100,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
頭頸部癌における低酸素細胞陽性描画を目的としたPET分子イメージング研究	安賀 文俊	放射線診断科	1,100,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
骨軟部肉腫に対する分子標的治療	中村 修	整形外科	2,000,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
膵β細胞における脂肪毒性解除にむけた治療戦略	村尾 孝児	検査部	1,200,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
高精度・低副作用な放射線治療計画を可能とする経時的な線量分布参照システムの開発	上村 幸司	医療情報部	1,800,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
気管細胞外マトリックスと自己骨髄幹細胞を用いた異種移植気道グラフトの開発と応用	呉 哲彦	呼吸器・乳腺内分泌外科	1,400,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
膵臓癌におけるピック3遺伝子の臨床的意義に関する検討	大島 稔	消化器外科	1,800,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
軟性内視鏡による超低侵襲手術の基礎研究および術式確立	森 宏仁	消化器・神経内科	1,100,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
C型慢性肝炎におけるCD36分子を標的としたインスリン抵抗性の解明	樋本 尚志	総合診療部	500,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
網羅的メタボローム解析を用いた膵臓癌に関与する代謝反応の解明とその臨床応用	谷内田 真一	消化器外科	1,500,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
未熟児・新生児貧血に対する脳循環酸素代謝状態に基づく輸血基準の作成を目指して	小谷野 耕佑	総合周産期母子医療センター	500,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
皮膚バリア機構破綻アトピー性皮膚炎モデルマウスの酸化ストレス状態と治療	中井 浩三	皮膚科	700,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
Death Receptor 5を表面マーカーとした末梢循環腎癌細胞検出系の開発	平間 裕美	泌尿器・副腎・腎移植外科	900,000	補委	文部科学省科学研究費補助金
内リンパ囊の内リンパ静水圧調節機能についての検討	稲本 隆平	耳鼻咽喉科・頭頸部外科	900,000	補委	文部科学省科学研究費補助金



2 論文発表等の実績

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Leuk Res 36 (6): e122-124, 2012, 6	Elevated HIF-1・ expression of acute myelogenous leukemia stem cells in the endosteal hypoxic zone may be a cause of minimal residual disease in bone marrow after chemotherapy.	Matsunaga T	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科学
Ann Hematol 91 (10): 1633-1643, 2012, 10	Potentiated activation of VLA-4 and VLA-5 accelerates proplatelet-like formation.	Matsunaga T	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科学
Int J Hematol. 96 (3): 342-349, 2012, 9	Acute myeloid leukemia in clinical practice: a retrospective population-based cohort study in Miyazaki Prefecture, Japan.	Matsunaga T	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科学
Lung Cancer. 2012 Aug; 77(2):293-8.	Detection of EML4-ALK fusion genes in a few cancer cells from transbronchial cytological specimens utilizing immediate cytology during bronchoscopy.	Kanaji N	内分泌代謝・血液・免疫・呼吸器内科
Clin Exp Nephrol 2012 Dec 27	Excess fluid distribution affects tacrolimus absorption in peritoneal dialysis patients.	Sofue T	循環器・腎臓・脳卒中内科
Tohoku J Exp Med 2012;228(4):333-9.	Important aspects of urine sampling for angiotensinogen measurement: time and preservation conditions in healthy individuals	Nishijima Y	循環器・腎臓・脳卒中内科
BMC Gastroenterol 12: 37, 2012.4	Effectiveness of CO2-insufflated endoscopic submucosal dissection with the duodenal balloon occlusion method for early esophageal or gastric cancer: a randomized case control prospective study	Mori H	消化器・神経内科
J Clin Invest 122: 1271-1282, 2012. 4	A novel IL-12-TIM-3 pathway induces T cell exhaustion and predicts reduced survival in patients with follicular B-cell non-Hodgkin lymphoma.	Hirashima M	消化器・神経内科
Endoscopy 44 Suppl 2: E197-198, 2012. 5	Bloc biopsy by tunneling method using the endoscopic submucosal dissection for upper gastrointestinal submucosal tumor.	Kobara H	消化器・神経内科
Endoscopy 44 Suppl 2: E134-135, 2012. 5	Successful en bloc resection of an esophageal hemangioma by endoscopic submucosal dissection.	Kobara H	消化器・神経内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
World J Gastroenterol 18: 2872-2876, 2012.6	Bleeding Duodenal Hemangioma: Morphological Changes and Endoscopic Mucosal Resection.	Nishiyama N	消化器・神経 内科
World J Gastroenterol 18: 3177-3180, 2012.6	Rectal perforations and fistulae secondary to a glycerin enema: Closure by over-the-scope-clip.	Mori H	消化器・神経 内科
Endoscopy 44: 641-648, 2012.7	Local steroid injection into the artificial ulcer created by endoscopic submucosal dissection for gastric cancer: prevention of gastric deformity.	Mori H	消化器・神経 内科
World J Gastroenterol 18: 3623-3626, 2012.7	Difficulty in differentiating two cases of sigmoid stenosis by diverticulitis from cancer.	Nishiyama N	消化器・神経 内科
J Med Case Rep 6: 268, 2012.8	Endoscopic hemostasis with endoscopic mucosal resection and multiple synchronous early gastric cancers: a case report.	Fujihara S	消化器・神経 内科
Gastrointest Endosc 76: 689-690, 2012.9	Simultaneous resection of Barrett's esophageal cancer and severe stenosis caused by reflux esophagitis.	Mori H	消化器・神経 内科
Oncol Rep 28: 841-847, 2012.9	Prediction of invasion depth for submucosal differentiated gastric cancer by magnifying endoscopy with narrowband imaging.	Kobara H	消化器・神経 内科
Arab J Gastroenterol 13: 158-160, 2012.9	Giant gastric ulcer penetrating into the pancreas.	Fujihara S	消化器・神経 内科
J Med Case Rep 6: 367, 2012.10	Active bleeding from a periampullary duodenal diverticulum that was difficult to diagnose but successfully treated using hemostatic forceps: a case report.	Nishiyama N	消化器・神経 内科
Gastrointest Endosc 76: 1272-1273, 2012.12	Variceal transection of esophageal varix using the ESD method: new treatment technique for esophageal varix (with video).	Mori H	消化器・神経 内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Gastrointestin Liver Dis21: 435-437, 2012. 12	Recanalization of severe gastric antral stricture after large endoscopic submucosal dissection: mucosal incision and local steroid injection.	Mori H	消化器・神経 内科
Gastroenterol Res Pract 2012: 243524, 2012. 12	Molecular Biologic Approach to the Diagnosis of Pancreatic Carcinoma Using Specimens Obtained by EUS-Guided Fine Needle Aspiration.	Kato K	消化器・神経 内科
Gastroenterol Res Pract 2012: 483623, 2012. 12	Metabolic Syndrome, Obesity, and Gastrointestinal Cancer.	Fujihara S	消化器・神経 内科
Gastrointest Endosc 77: 141-145, 2013. 1	Bloc biopsy by using submucosal endoscopy with a mucosal flap method for gastric subepithelial tumor tissue sampling(with video).	Kobara H	消化器・神経 内科
World J Gastroenterol 19: 1143-1146, 2013. 2	Cytomegalovirus-associated gastric ulcer: A side effect of steroid injections for pyloric stenosis.	Mori H	消化器・神経 内科
Int J Oncol 42: 517-524, 2013. 2	Antitumor effect of metformin in esophageal cancer: In vitro study.	Kobayashi M	消化器・神経 内科
Intern Med 52: 355-357, 2013. 3	An iatrogenic sigmoid perforation caused by an aortobifemoral graft mimicking an advanced colon cancer.	Fujihara S	消化器・神経 内科
World J Gastroenterol 19: 1618-1624, 2013. 3	Influence of percutaneous local therapy for hepatocellular carcinoma on gastric function.	Kobayashi M	消化器・神経 内科
Br J Dermatol 166: 227-229, 2012	The profilaggrin N-terminal domain is absent in pityriasis rotunda.	Yoneda K	皮膚科
J Invest Dermatol 132: 1206-1214, 2012. 4	Interaction of the profilaggrin N- terminal domain with loricrin in human cultured keratinocytes and epidermis.	Yoneda K	皮膚科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Pathol 181: 969-977, 2012. 9	Reduced expression of epidermal growth factor receptor, E-cadherin, and occludin in the skin of flaky tail mice is due to filaggrin and loricrin deficiencies.	Nakai K	皮膚科
Clin Exp Dermatol 38: 638-645, 2013	Sphingosine 1-phosphate attenuates H2O2-induced apoptosis in HaCaT cells cultured in vitro.	Moriue T	皮膚科
J Pediatr Gastroenterol Nutr. 55, 4, e125, 2012. 10	Terminal Ileitis Caused by Yersinia pseudotuberculosis Mimicking Crohn's Disease in Childhood.	Ijichi S	小児科学
Brain Dev. 34, 9, 719-722, 2012. 10	A developmental change of the visual behavior of the face recognition in the early infancy.	Konishi Y	小児科
Brain Dev. 35, 1, 17-25, 2013. 1	Extrauterine environment influences spontaneous low-frequency oscillations in the preterm brain.	Kato I	小児科
J Pediatr Gastroenterol Nutr. 2012 Oct 10. [Epub ahead of print]	Cellular Cholesterol Levels in Platelets Before and After Liver Transplantation in A Child With Alagille Syndrome Complicated by Severe Hypercholesterolemia.	Ijichi S	小児科学
Brain Dev. Epub 2012 Nov 28.	Cerebral blood volume combined with amplitude-integrated EEG can be a suitable guide to control hypoxic/ischemic insult in a piglet model.	Nakamura S	小児科学
Transfusion. Epub 2012 Nov 12.	The effect of blood transfusion on cerebral hemodynamics in preterm infants.	Koyano K	小児科
Ann Clin Biochem. 49, Pt6, 595-599, 2012. 11	Influence of bilirubin photoisomers on unbound bilirubin measurement in clinical settings.	Okada H	小児科
日本小児臨床薬理学会雑誌 25, 1, 114-116, 2012. 12	切迫早産の治療困難例に対する母体スリンドク投与症例における母体及び児血中濃度の検討	小谷野 耕佑	小児科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
日本小児臨床薬理学会 雑誌 25, 1, 105-109, 2012. 12	早期新生児におけるシスタチンC尿中排泄の 検討 尿中排泄からみた血清シスタチンC測 定の意義	伊藤 進	小児科学
日本未熟児新生児学会 雑誌 25, 1, 54-58, 2013. 1	静注用アシクロピルの適応拡大への道 —新生児希有疾患サーベイランス事業報告 —	伊藤 進	小児科学
Arch Gynecol Obstet 286(6) : 1431-1435, 2012. 12	Three- and four-dimensional Hdlive rendering images of normal and abnormal fetuses: pictorial essay.	Hata T	周産期学婦人 科学
Journal of Hypertension 31, 42-43, 2013. 2	Juxtamedullary preglomerular vascular injury precedes glomerular and tubulointerstitial injuries during the development of hypertension.	Kono Y	心臓血管外 科・薬理学
Ann Surg Oncol 19(9), 2937-2945, 2012. 9	Pilot feasibility study of neoadjuvant chemoradiotherapy with S-1 in patients with locally advanced gastric cancer featuring adjacent tissue invasion or JGCA Bulky N2 lymph node metastases.	Inoue T	消化器外科
Surg Today 2012. 7	Pancreatic thickness as a predictive factor for postoperative pancreatic fistula after distal pancreatectomy using an endopath stapler	Okano K	消化器外科
Surg Today 2012. 11	Extraperitoneal colostomy in laparoscopic abdominoperineal resection using the Endo-Maxi Retract.	Akamoto S	消化器外科
Surg Today 2012, 11	Hand assisted laparoscopic splenectomy for thrombocytopenia in patients with cirrhosis.	Kakinoki K	消化器外科
Surg Today 2012. 12	Omental flap wrapping with fixation to the cut surface of the liver for reducing delayed gastric emptying after left-sided hepatectomy.	Okano K	消化器外科
Ann Surg 258(2), 336-346, 2013. 3	Immunohistochemically detected expression of the three major genes (TP53, CDKN2A/p16 and SMAD4/DPC4) strongly predicts survival in patients with pancreatic cancer.	Oshima M	消化器外科



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anticancer Res. 33, 103, 1107-1115, 2013. 3	Biomarkers as Prognostic Factors for cN2 or 3 Non-small Cell Lung Cancer Treated by Induction Chemoradiotherapy and Surgery.	Yokomise H	呼吸器・乳腺 内分泌外科学
Cancer Biol Ther. 14, 1, 20-28, 2013.1	Clinical usefulness of human epidermal growth factor receptor-2 extracellular domain as a biomarker for monitoring cancer status and predicting the therapeutic efficacy in breast cancer.	Kontani K	呼吸器・乳腺 内分泌外科学
Eur J Cancer. 48, 8, 1208-1218, 2012. 5	Adenoviral vector expressing short hairpin RNA targeting Wnt2B has an effective antitumour activity against Wnt2B2-overexpressing tumours.	Liu D	呼吸器・乳腺 内分泌外科学
Gen Thorac Cardiovasc Surg. 60, 4, 249-251, 2012. 4	Bronchoplasty with continuous sutures for non-small-cell lung cancer.	Igai H	呼吸器・乳腺 内分泌外科
Kyobu Geka. 66, 2, 169-172, 2013. 2	Mucosa-associated Lymphoid Tissue (MALT) Lymphoma of the Lung Treated by Surgery and Rituximab	Yoshida C	呼吸器・乳腺 内分泌外科
Lung Cancer. 76, 2, 228-234, 2012. 5	Wnt3 gene expression promotes tumor progression in non-small cell lung cancer	Nakashima N	呼吸器・乳腺 内分泌外科
MOLECULAR AND CLINICAL ONCOLOGY 1: 225-230, 2013 1: 225-230 2013. 1	Metronomic chemotherapy for metastatic breast cancer to prolong time to treatment failure to 12 months or more	Kontani K	呼吸器・乳腺 内分泌外科学
日本呼吸器外科学会雑 誌 52, 6, 913-918, 2012. 10	ベバシズマブを含む化学療法により転移巣 の病理学的完全奏効が得られ治癒切除が可 能であったIV期肺癌の1例	張 性洙	呼吸器・乳腺 内分泌外科
Eur Urol. 2012 Nov 12. doi:pii: S0302- 2838(12)01336-X.	Active Surveillance for Low-Risk Prostate Cancer Worldwide: The PRIAS Study.	Takehi Y	泌尿器科学
Jpn J Clin Oncol. 2012 Nov;42(11):1094- 8.	After Second Transurethral Resection: Japan Clinical Oncology Group Study JCOG1019.	Takehi Y	泌尿器科学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Am J Nephrol. 2012;36(2):127-35.	Pre-existing arteriosclerotic intimal thickening in living-donor kidneys reflects allograft function.	Takehi Y	泌尿器科学
Int J Clin Oncol. 2012 Feb 21.	Prolonged treatment with three-weekly docetaxel plus daily prednisolone for metastatic castration-resistant prostate cancer: a multicenter, phase II, open-label, non-comparative, extension study in Japan	Takehi Y	泌尿器科学
Urology. 2012 Apr;79(4):968.e7-15.	Expression of TRAIL, DR4, and DR5 in bladder cancer: correlation with response to adjuvant therapy and implications of prognosis.	Takehi Y	泌尿器科学
Anticancer Drugs. 2012 Apr;23(4):445-54.	Delineation of apoptotic genes for synergistic apoptosis of lexatumumab and anthracyclines in human renal cell carcinoma cells by polymerase chain reaction array.	Takehi Y	泌尿器科学
J Endourol. 2012 Jun;26(6):652-9.	Surgical and oncologic outcomes of laparoscopic partial nephrectomy: a Japanese multi-institutional study of 1375 patients.	Takehi Y	泌尿器科学
Am J Nephrol 36:127-135, 2012	Pre-Existing Arteriosclerotic Intimal Thickening in Living-Donor Kidneys Reflects Allograft Function.	Takehi Y	泌尿器科学
Clin Exp Nephrol. 2012 Dec 27.	Excess fluid distribution affects tacrolimus absorption in peritoneal dialysis patients.	Takehi Y	泌尿器科学
泌尿器外科 742-743, 2012	BCG製剤に対する抗菌薬感受性の検討.	加藤 琢磨	泌尿器・副腎・腎移植外科
Neurological Surgery 41巻2号 117-126 (2013.02)	中枢神経原発悪性リンパ腫診断におけるFDG-PETの有用性と限界	河井 信行	脳神経外科学
J Biomed Biotechnol. 2012;2012:205818.	Usefulness of FDG, MET and FLT-PET studies for the management of human gliomas.	Miyake K	脳神経外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Case Rep Oncol. 2012 May;5(2):339-46	Insufficiency of positron emission tomography and magnetic resonance spectroscopy in the diagnosis of intravascular lymphoma of the central nervous system.	Kawai N	脳神経外科学
Interv Neuroradiol. 2012 Sep;18(3):264-74.	Cerebral blood flow and metabolism measurement using positron emission tomography before and during internal carotid artery test occlusions: feasibility of rapid quantitative measurement of CBF and OEF/CMRO(2)	Kawai N	脳神経外科学
Neurol Med Chir (Tokyo) 2012;52(10):765-9.	Usefulness of L-[methyl-11c]methionine positron emission tomography in the treatment of idiopathic hypertrophic cranial pachymeningitis—case report.	Miyake K	脳神経外科
Eur J Nucl Med Mol Imaging. 2013 Jan;40(2):175-85.	Evaluation of 3'-deoxy-3'-[18F]-fluorothymidine (18F-FLT) kinetics correlated with thymidine kinase-1 expression and cell proliferation in newly diagnosed gliomas.	Shinomiya A	脳神経外科
J Neurosurg. 2013 Feb;118(2):258-63.	Relapse of herpes encephalitis induced by temozolomide-based chemoradiation in a patient with malignant glioma.	Okada M	脳神経外科
Brain Tumor Pathol. 2013 Feb 20	3'-Deoxy-3'-[(18)F]-fluorothymidine ([18F]-FLT) transport in newly diagnosed glioma: correlation with nucleoside transporter expression, vascularization, and blood-brain barrier permeability	Shinomiya A	脳神経外科
J Foot Ankle Surg. 51(5), 648-51, 2012 Sep-Oct	Massive heterotopic ossification around the ankle in a patient with macrodactyly of the foot: a case report.	Matsuzaki T	整形外科
日本人工関節学会誌 42, 135-136, 2012. 12	セメントレスTHA術後成績 Secure-Fit型システムを使用したセメントレスTHAの中期成績	高田 成基	整形外科
中部日本整形外科災害外科学会雑誌 55(5), 1213-1214, 2012. 09	化膿性脊椎炎に対する経椎弓根病巣搔爬の術後成績	野村 優美	整形外科
中国・四国整形外科学会雑誌 24(2), 381-387, 2012. 9	ハムストリング腱を用いたMPFL再建術の短・中期成績～移植腱としての薄筋腱と半腱様筋腱の比較～	飯田 奈津子	整形外科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Hip Joint 38, 741-744, 2012. 08	一次性変形性股関節症の解剖学的異常	岩田 憲	整形外科
JOSKAS 37(2); 262-263, 2012. 04	膝骨壊死に対する人工膝単顆置換術の治療成績	千頭 憲一郎	整形外科
J Plast Surg Hand Surg. 46(5)374-6 2012. 10	Ischaemic complications 20 years after harvesting of a radial forearm flap in a patient with scleroderma.	Tanaka Y	形成外科学
Plast Reconstr Surg. 130(6):905e-906e, 2012. 12	Microsurgical reconstruction of nasolacrimal duct obstruction using an eversion technique.	Tanaka Y	形成外科学
J Surg Res 183 976-81, 2013. 3	The rare sugar D-allose has a reducing effect against ischemia-reperfusion injury on the rat abdominal skin island flap model.	Muneuchi G	形成外科学
日本マイクロサージャリー学会誌, 25巻2号 92-95 2012. 06	透析シャント結紮後に橈骨動脈血栓と手指の虚血をきたした症例の治療経験	濱本 有祐	形成外科
日本形成外科学会誌 32巻11号 791-802 2012. 11	Temporary Arteriovenous Shunt Loopにおける血管内流動と血栓形成のメカニズムに関する実験的研究	木暮 鉄邦	形成外科
Clinical & Experimental Ophthalmology 40(7) : 721-726, 2012	Comparison of optic nerve head parameters using Heidelberg Retina Tomograph 3 and spectral-domain optical coherence tomography	Sato S	眼科
Invest Ophthalmol Vis Sci. 53(7) : 4099-4110, 2012	Neuroprotective Effects of Angiotensin II Type 1 Receptor (AT1-R) Blocker via Modulating AT1-R Signaling and Decreased Extracellular Glutamate Levels	Fujita T	眼科
Jpn J Ophthalmology 56(6) : 599-607, 2012	One-Year Results of bevacizumab intravitreal and posterior sub-Tenon injection of triamcinolone acetonide with reduced laser fluence Photodynamic Therapy for retinal angiomatous proliferation	Shirakata Y	眼科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
BMC Ophthalmol 12(29), 2012	Evaluation of peripapillary choroidal thickness in patients with normal-tension glaucoma	Hirooka K	眼科
Clin Experiment Ophthalmol. 40(6) : 576-582, 2012	Relationship between progression of visual field damage and choroidal thickness in eyes with normal-tension glaucoma	Hirooka K	眼科
Nihon Ganka Gakkai Zasshi. 116(11) : 1080-1085, 2012	Changes in subfoveal choroidal thickness of epiretinal membrane and macular hole before and after microincision vitrectomy surgery	Fujiwara A	眼科
Japanese J Ophthalmol 56 : 230-235, 2012	Enhanced depth imaging spectral-domain optical coherence tomography of subfoveal choroidal thickness in normal Japanese eyes	Fujiwara A	眼科
Am J Ophthalmol 155(1) : 96-102, 2013	Two-Year Results of Reduced-Fluence Photodynamic Therapy for Polypoidal Choroidal Vasculopathy	Yamashita A	眼科
Auris Nasus Larynx 39, 6, 567-571, 2012. 12	Evaluation of the vestibular aqueduct in Meniere's disease using multiplanar reconstruction images of CT	Miyashita T	耳鼻咽喉科学
Acta Oto- Laryngologica 132, 12, 1347- 1354, 2012. 12	Comparison of 18F-FLT PET and 18F-FDG PET for detection of cervical lymph node metastases in head and neck cancers	Hoshikawa H	耳鼻咽喉科学
J Nuclear Medicine 53, 10, 1521- 1527, 2012. 10	Usefulness of 3'-Deoxy-3' - 18F-	Kishino T	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科
J Craniofac Surg 23, 4, 1093-1096, 2012. 7	Indications and limitations of endoscopic endonasal orbitotomy for orbital lesion	Karaki M	耳鼻咽喉科・ 頭頸部外科
Nucl Med Commun 平成24年6月 33:621-5	Hypoxia assessed by 18F-fluoromisonidazole positron emission tomography in newly diagnosed gliomas.	Yamamoto Y	放射線診断科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Nucl Med 平成24年12月 53:1911-1915	Correlation of 18F-FLT uptake with tumor grade and Ki-67 immunohistochemistry in patients with newly diagnosed and recurrent gliomas.	Yamamoto Y	放射線診断科
Radiotherapy and Oncol. 106, 1, 85-89	Volume and dosimetric changes and initial experience of a two-step adaptive intensity modulated radiation therapy (IMRT) scheme for head neck cancer.	Shibata T	放射線治療科
Tohoku J Exp Med 228(3) ; 215-21 2012. 11	D-allose ameliorates cisplatin-induced nephrotoxicity in mice.	Miyawaki Y	手術部
ペインクリニック 33(8) ; 1175-1177 2012. 8	Pain Vision®の使用説明表現は測定結果に影響する	佐野 愛	麻酔・ペインクリニック科
The Tohoku Journal of Experimental Medicine, 228(3), 215-221, 2012, Nov	D-allose ameliorates cisplatin-induced nephrotocity.	Miyawaki Y	手術部
J. Maxillofacial and Oral Surgery DOI: 10.1007/s12663-013-0487-6 2013, 1	Metastasis in the gingiva from colon adenocarcinoma	Miyake M	歯科口腔外科学
Oral Surg Oral Med Oral Pathol Oral Radiol. doi: 10.1016/j.oooo.2012.09.006. Epub 2012. 12	Adjunct teriparatide therapy with monitoring of bone turnover markers and bone scintigraphy for bisphosphonate-related osteonecrosis of the jaw.	Ohbayashi Y	歯・顎・口腔外科
日口科誌 62(2):181-186, 2013. 3	口腔扁平苔癬に対するマレイン酸イルソグラジンの治療効果の検討	大林 由美子	歯・顎・口腔外科
障害者歯科33(4) : 659-664, 2012, 10	かがわ総合リハビリテーションセンター歯科における障がい者の歯の外傷実態調査	三宅 実	歯科口腔外科学
Mol Biol Evol. 30613-626, 2013. 3	Human microRNAs originated from two periods at accelerated rates in mammalian evolution.	村尾 孝児	先端医療・臨床検査医学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
J Med Case Rep. 6:119, 2012. 4	Xanthogranuloma of the intrasellar region presenting in pituitary dysfunction: a case report.	Imachi H	先端医療・臨床検査医学
Diabetes. 61:1062-1071, 2012. 5	Liver X receptor $\alpha$ is involved in the transcriptional regulation of the 6-phosphofructo-2-kinase/fructose-2,6-bisphosphatase gene.	Murao K	先端医療・臨床検査医学
J Atheroscler Thromb. 19(8):747-755. 2012. 4	Association between Urinary 8-Hydroxydeoxyguanosine, an Indicator of Oxidative Stress, and the Cardio-Ankle Vascular Index in Hypertensive Patients	Masugata H	総合診療部
Hypertens Res. 35(4):388-392. 2012. 4	Association between Arterial Stiffness and Pulmonary Function in Hypertensive Patients	Masugata H	総合診療部
J Clin Lab Anal. 26(5):342-348. 2012. 9	Clinical relevance of antibodies to cardiolipin in patients with chronic hepatitis C.	Himoto T	総合診療部
Clin Exp Hypertens. 35(5):308-312. 2012. 9	Association between Oxidative Stress assessed by Urinary 8-hydroxydeoxyguanosine and the Cardiac Function in Hypertensive Patients without Overt Heart Disease	Masugata H	総合診療部
Hepat Mon. e5945. 2012. 10	Recent advances in radiofrequency ablation for the management of hepatocellular carcinoma.	Himoto T	総合診療部
J Atheroscler Thromb. 19(3):255-262. 2012. 11	Association of Cardio-Ankle Vascular Index with Brain Natriuretic Peptide Levels in Hypertension	Masugata H	総合診療部
Nutr Res. 33(1):27-33. 2013. 1	The ratio of insulin-like growth factor-I/insulin-like growth factor-binding protein-3 in sera of patients with hepatitis C virus-related chronic liver disease as a predictive marker of insulin resistance	Himoto T	総合診療部
Clin Dev Immunol 2012: 871401, 2012. 9	Extrahepatic manifestations and autoantibodies in patients with hepatitis C virus infection.	Himoto T	総合診療部

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Diagn Cytopathol 平成24年9月	Cytopathologic features and differential diagnostic considerations of primary lymphoepithelioma-like carcinoma of the lung	Hayashi T	病理部
医療情報学 32(6), 287-94, 2012, 12	標準用語集の普及を目的としたツールの開発	長井 美和	医療情報部
Journal of Pharmacological Sciences Volume 121, Number 2, January 2013 2013 2	Effects of angiotensin II AT1 receptor blockade on high fat diet-induced vascular oxidative stress and endothelial dysfunction in Dahl salt-sensitive rats	Kosaka S	薬剤部
Circ J 2012; 76: 2579 - 2585	Neurological Benefit of Therapeutic Hypothermia Following Return of Spontaneous Circulation for Out-of-Hospital Non-Shockable Cardiac Arrest	Kuroda Y	救命救急センター
日本救急医学会雑誌 2012 ; 23 : 8 : 357-363	Posterior reversible encephalopathy syndrome (PRES): five case reports	Kawakita K	救命救急センター
Clinical and Experimental Dermatology. 38(6) 638-645, 2013.	Sphingosine 1-phosphate attenuates peroxide-induced apoptosis in HaCaT cells cultured in vitro.	Igarashi J	自律機能生理学 皮膚科学
Am. J. Physiol. (Cell Physiology) 304: C790-C800, 2013.	Dexamethasone Induces Caveolin-1 In Vascular Endothelial Cells: implications for attenuated responses to VEGF.	Igarashi J	自律機能生理学 皮膚科学 薬物生体情報学
Tohok J Exp Med. 228, 4, 333-9, 2012. 11	Important aspects of urine sampling for angiotensinogen measurement: time and preservation conditions in healthy individuals	Nishijima Y	薬理学
J Biochem. 153:463-471 (2013)	Self-association of the galectin-9 C-terminal domain via the opposite surface of the sugar-binding site.	Nonaka Y	分子細胞機能学
J Biol Chem 287:31905-31919, 2012. 9	Generation of N-acylphosphatidylethanolamine by members of the phospholipase A/acyltransferase (PLA/AT) family.	Uyama T	生化学



雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Bioorg Med Chem 20:3658-3665, 2012. 6	Lipophilic amines as potent inhibitors of N-acylethanolamine-hydrolyzing acid amidase.	Yamano Y	生化学
ACS Chem Neurosci 3:379-385, 2012. 5	Endogenous molecules stimulating N-acylethanolamine-hydrolyzing acid amidase (NAAA).	Tai T	生化学
J Cereb Blood Flow Metab. 2013; 33(3): 440-8	Rapid quantitative CBF and CMRO2 measurements from a single PET scan with sequential administration of dual 150-labeled tracers	Kudomi N	医用物理学
Phys Med Biol. 2012 Nov 14;57(23):7873-7892	Quantitative assessment of regional cerebral blood flow by dynamic susceptibility contrast-enhanced MRI, without the need for arterial blood signals	Kudomi N	医用物理学
Mol Imaging Biol. 2012 Aug;14(4):509-16	Cross-validation of input functions obtained by H2150 PET imaging of rat heart and a blood flow-through detector.	Kudomi N	医用物理学
Anticancer Research, 2012 in press.	Non-invasive X-ray Micro-computed Tomographic Evaluation of Indomethacin on Urethane-induced Lung Carcinogenesis in Mice.	Ueno T	腫瘍病理学
J. Toxicol. Pathol., 25:257-263, 2012.	Toxicity of nicotine by repeated intratracheal instillation to F344 rats.	Yokohira M	腫瘍病理学
J. Toxicol. Sci., 37: 555-563, 2012.	Lung tumorigenesis promoted by anti-apoptotic effects of cotinine, a nicotine metabolite through activation of PI3K/Akt pathway.	Nakada T	腫瘍病理学
Int. J. Nanomed. 7:2557-2571, 2012.	Cisplatin-loaded core cross-linked micelles: comparative pharmacokinetics, antitumor activity, and toxicity in mice.	Yokohira M	腫瘍病理学
Archives of Gerontology and Geriatrics, 56(1), 75-79, 2013, Jan/Feb	CD36 expression in the brains of SAMP8.	Ueno M	炎症病理学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Blood 119, 18, 4192-4204 2012.5	Galectin-9 binding to Tim-3 renders activated human CD4+ T cells less susceptible to HIV-1 infection.	Niki T	免疫学 消化器・神経 内科
Clin Immunol 143, 1, 51-58 2012. 4	Galectin-9 suppresses Th17 cell development in an IL-2-dependent but Tim-3-independent manner.	Oomizu S	免疫学、統合 免疫システム 学、炎症病理 学、総合生命 科学研究セン ター 消化
Eur J Immunol 43, 2, 458-467 2013. 2	HCV-infected hepatocytes drive CD4+ CD25+ Foxp3+ regulatory T-cell development through the Tim-3/Gal-9 pathway.	Niki T	免疫学 消化器・神経 内科
Immunobiology 217, 6, 657-666 2012. 6	Galectin-9 ameliorates herpes simplex virus-induced inflammation through apoptosis.	Niki T	免疫学 消化器・神経 内科
Infect Agent Cancer 7, 1, 16 2012. 7	A novel monoclonal antibody for detection of galectin-9 in tissue sections: application to human tissues infected by oncogenic viruses.	Niki T	免疫学 消化器・神経 内科
Int Arch Allergy Immunol 158 Suppl 1, 58-65 2012. 5	Possible regulatory role of galectin-9 on Ascaris suum-induced eosinophilic lung inflammation in mice.	Oomizu S	免疫学 消化器・神経 内科
J Clin Invest 122, 4, 1271-1282 2012. 4	IL-12 upregulates TIM-3 expression and induces T cell exhaustion in patients with follicular B cell non-Hodgkin lymphoma.	Niki T	免疫学 消化器・神経 内科
J Invest Dermatol 132, 9, 2302-2305 2012. 9	The glycan-binding protein galectin-9 has direct apoptotic activity toward melanoma cells.	Niki T	免疫学 総合生命科学 研究センター 消化器・神経 内科
J Virol 86, 19, 10606-10620 2012. 10	TNFRSF25 agonistic antibody and galectin-9 combination therapy controls herpes simplex virus-induced immunoinflammatory lesions.	Niki T	免疫学 消化器・神経 内科
Tohoku J Exp Med 228, 2, 157-161 2012. 10	Rapid decrease of plasma galectin-9 levels in patients with acute HIV infection after therapy.	Niki T	免疫学 消化器・神経 内科

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Parasitol Res. 110, 4, 1565- 1567, 2012. 4	D-allose and D-psicose reinforce the action of metronidazole on trichomonad.	原田 正和	国際医動物学
Eur. Respir. J. 38, 415-424	Blockade of Th1 chemokine receptors ameliorates pulmonary granulomatousis in mice.	Kuwahara T	分子微生物学
Dig. Dis. Sci. 57, 11, 2955-64	Reduced diversity and imbalance of fecal microbiota in patients with ulcerative colitis.	Kuwahara T	分子微生物学
J. Med. Invest. 59, 246-252	Effect of indole-3-carbinol and phenethyl isothiocyanate on bile and pancreatic juice excretion in rats.	Kuwahara T	分子微生物学
Auris Nasus Larynx. 39, 374-377	Anti-microbial and therapeutic effects of modified Burow's solution on refractory otorrheas.	Kuwahara T	分子微生物学
BMC Genomics 13, 699	Evaluation method for the potential functionome harbored in the genome and methagenome.	Kuwahara T	分子微生物学
PLoS One 8, e53829	PhoB regulates the survival of Bacteroides fragilis in peritoneal abscesses.	Imahiji H	分子微生物学
Nature Communications 3, 607	Inhibition of specific gene expression by protein-mediated mRNA interference.	Noriya H	分子微生物学
J. Bacteriol. 194, 13, 3464-3474	Clostridium difficile MazF toxin exhibits selective, not global, mRNA cleavage.	Suzuki M	分子微生物学
Plos one, 7, 2, 1-4, 2012. 02	The New School Absentees Reporting System for Pandemic Influenza A/H1N1 2009 Infection in Japan	Miyatake N	衛生学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Open Journal of Epidemiology, 2, 2, 44-49, 2012.05	Comparison of coffee, tea and green tea consumption between Japanese with and without metabolic syndrome in a cross-sectional study	Miyatake N	衛生学
Open Journal of Epidemiology, 2, 2, 50-54, 2012.05	Changes in exercise habits and pulse wave velocity with lifestyle modification in Japanese	Miyatake N	衛生学
Journal of Human Genetics, 57, 5, 305-310, 2012.05	Association between type 2 diabetes genetic susceptibility loci and visceral and subcutaneous fat area as determined by computed tomography	Miyatake N	衛生学
Journal of Clinical Endocrinology & Metabolism, 97, 7, E1202-E1207, 2012.07	Serum vaspin concentrations are closely related to insulin resistance, and rs77060950 at SERPINA12 genetically defines distinct group with higher serum levels in Japanese population	Miyatake N	衛生学
Health, 4, 7, 423-428, 2012.07	Relationship between predicted oxygen uptake and cigarette smoking in Japanese men	Miyatake N	衛生学
Journal of Preventive Medicine, 7, 2, 65-68, 2012.07	The relation between higher ambulance transports due to heat stroke and higher air temperature using daily data in Kagawa prefecture, Japan	Miyatake N	衛生学
Journal of Preventive Medicine, 7, 2, 69-71, 2012.07	Changes in air temperature in Rishiri island, a Japanese northern island	Miyatake N	衛生学
Health, 4, 9, 570-573, 2012.09	The effect of cigarette smoking on flexibility in Japanese	Miyatake N	衛生学
Journal of Preventive Medicine and Public Health, 45, 5, 309-315, 2012.09	Changes in air temperature and its relation to ambulance transports due to heat stroke in all 47 prefectures of Japan	Miyatake N	衛生学
Journal of Nutritional Science, 1, e12, 2012.10	Association between dietary intake of micronutrients and cardiorespiratory fitness in Japanese men	Miyatake N	衛生学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Journal of Preventive Medicine and Public Health, 45, 6, 381-386, 2012. 11	Relationship between cigarette smoking and muscle strength in Japanese men	Miyatake N	衛生学
BMC Nephrology, 13, 163, 2012. 12	The serum vaspin levels are reduced in Japanese chronic hemodialysis patients	Miyatake N	衛生学
BMC Nephrology, 14, 1, 23, 2013. 01	Serum galectin-9 levels are elevated in the patients with type 2 diabetes and chronic kidney disease	Miyatake N	衛生学
Journal of Physical Activity & Health, 10, 2, 280-287, 2013. 02	Prediction of maximal oxygen uptake from a 3-minute walk based on gender, age, and body composition	Miyatake N	衛生学
Open Journal of Epidemiology, 3, 1, 1-3, 2013. 02	The relationship between income inequality and obesity in all 47 prefectures of Japan: ecological study	Miyatake N	衛生学
Neurol Sci. 2012. DOI: 10.1007/s10072-012-1149-z	Low-dose nicotine facilitates spatial memory in ApoE-knockout mice in the radial arm maze.	Ameno K	法医学
Soud Lek. 2012; 57: 48-50.	Forensic toxicological implications of pleural effusion: an autopsy case of drug overdose.	Tanaka N	法医学
Heterocycles, 85 1105-1116 (2012)	Novel synthesis of carbocyclic oxetanocin analogs (2-alkoxy-C. OXT.A) and their tube formation activities of human umbilical vein endothelial cells (HUVEC)	Tsukamoto I	薬物生体情報学
Clinical Immunology 143, 1, 51-58, 2012. 4	Galectin-9 suppresses Th17 cell development in an IL-2-dependent but Tim-3-independent manner.	Kadowaki T	統合免疫システム学
Anticancer Research 32, 6, 2257-2261, 2012. 6	Reconsideration of macrophage and dendritic cell classification.	Kadowaki T	統合免疫システム学

雑誌名	題名	発表者氏名	所属部門
Anticancer Research 32, 6, 2337-2341, 2012. 6	The involvement of O-antigen polysaccharide in lipopolysaccharide in macrophage activation.	Kadowaki T	統合免疫システム学
Anticancer Research 32, 6, 2229-2234, 2012. 6	Biological Response Modifiers used in Cancer Biotherapy.	Soma G	統合免疫システム学
Neurol Res Int 2012:847634, 2012	Transcranial magnetic stimulation with the maximum voluntary muscle contraction facilitates motor neuron excitability and muscle force	Touge T	健康科学

19ページ  
計3件  
合計183件

## (様式第 12)

## 診療並びに病院の管理及び運営に関する諸記録の管理方法

管理責任者氏名	病 院 長 千 田 彰 一		
管理担当者氏名	総務課長	岡田 俊	医事課長 鬼村 博幸
	薬剤部長	芳地 一	放射線部長 西山 佳宏

		保 管 場 所	管 理 方 法
診療に関する諸記録 病院日誌、各科診療日誌、処方せん、手術記録、看護記録、検査所見記録、エックス線写真、紹介状、退院した患者に係る入院期間中の診療経過の要約及び入院診療計画書		医学部医事課 薬剤部 放射線部 検査部 病理部 医療情報部	診療録及び診療諸記録を電子媒体にて保存管理している。紙媒体のものについては、外来・入院別に1患者1ファイル方式とし、エックス線写真は1患者1ファイル方式で共に永久保存を原則として、コンピューターによる集中管理を行っている
病院の管理及び運営に関する諸記録	従業者数を明らかにする帳簿	医学部総務課	
	高度の医療の提供の実績	医学部医事課	
	高度の医療技術の開発及び評価の実績	医学部総務課	
	高度の医療の研修の実績	医学部医事課	
	閲覧実績	医学部医事課	
	紹介患者に対する医療提供の実績	医学部医事課	
	入院患者数、外来患者及び調剤の数を明らかにする帳簿	医学部医事課 及び薬剤部	
第規一則号第一に掲げる十体の第一項各号の状況及び第九条の二十三第一項	医療に係る安全管理のための指針の整備状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	医療安全管理部	
	医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	医療安全管理部	
	医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	医学部医事課 医療安全管理部	
	専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	医療安全管理部	
	専任の院内感染対策を行う者の配置状況	感染制御部	
	医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	医療安全管理部	
	当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	医学部医事課 地域連携室 医療安全管理部	

		保管場所	分類方法
病院の管理及び運営に関する諸記録	規則	院内感染のための指針の策定状況	感染制御部
	第一条	院内感染対策のための委員会の開催状況	感染制御部
	第十一条	従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	感染制御部
	第一項	感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の実施状況	感染制御部
	各号及び	医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	医療安全管理部 薬剤部
	第九条	従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
	第二十三	医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
	第一項	医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部 薬剤部
	掲げる	医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	医療安全管理部 ME機器管理センター
	体制の確保の状況	従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	医療安全管理部 ME機器管理センター
	医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	医療安全管理部 ME機器管理センター	
	医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	医療安全管理部 ME機器管理センター	

(注) 「診療に関する諸記録」欄には、個々の記録について記入する必要はなく、全体としての管理方法の概略を記入すること。



(様式第 13)

病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法及び紹介患者に対する医療提供の実績

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧方法

閲覧責任者氏名	医学部事務部長 日出 充一
閲覧担当者氏名	医事課長 鬼村 博幸
閲覧の求めに応じる場所	管理棟 1 階情報公開室

○病院の管理及び運営に関する諸記録の閲覧の実績

前年度の総閲覧件数	延	0 件
閲覧者別	医師	延 0 件
	歯科医師	延 0 件
	国	延 0 件
	地方公共団体	延 0 件

○紹介患者に対する医療提供の実績

紹介率	76.3%	算定期間	平成24年4月1日～平25年3月31日
算出根拠	A: 紹介患者の数	9,210人	
	B: 他の病院又は診療所に紹介した患者の数	6,517人	
	C: 救急用自動車によって搬入された患者の数	1,116人	
	D: 初診の患者の数	15,539人	

- (注) 1 「紹介率」欄は、A、B、Cの和をBとDの和で除した数に100を乗じて小数点以下第1位まで記入すること。  
2 A、B、C、Dは、それぞれの延数を記入すること。

(様式第 13-2)

規則第 1 条の 1 第 1 項各号及び第 9 条の 2 第 3 項第 1 号に掲げる体制の確保の状況

① 医療に係る安全管理のための指針の整備状況	有・無
・ 指針の主な内容：別紙①のとおり	
② 医療に係る安全管理のための委員会の開催状況	年 11 回
・ 活動の主な内容： (1) 安全管理のための指針の整備及び情報収集に関すること。 (2) 安全管理のための医療事故等の院内報告制度の整備に関すること。 (3) 安全管理に関する教育及び研修に関すること。 (4) 医療事故の防止及び対策に関すること。 (5) 安全対策マニュアルの実施状況の検証に関すること。 (6) 医療事故発生時の対応方法の整備(事故調査を含む。)に関すること。 (7) 医事問題に係る対策に関すること。 (8) 分析されたインシデントレポートの情報を、速やかに職員に周知及び実行させること。 (9) その他医療事故を含む安全管理に関すること。	
③ 医療に係る安全管理のための職員研修の実施状況	年 5 5 回
・ 研修の主な内容：別紙②のとおり	
④ 医療機関内における事故報告等の医療に係る安全の確保を目的とした改善のための方策の状況	有・無
・ 医療機関内における事故報告等の整備 ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1. 提出されたインシデントレポートに基づき、専任RMが、毎日現場へ情報確認に行き、現場と共に確認、分析を行う。 重要事例は、医療安全管理部長・病院長へ報告する。 2. 毎週のカンファレンスにおいて、提出されたインシデントレポートを審議し、対応策を検討する。内容によっては専任RMが現場に出向き再度対応、指導を行う。 3. 医療安全管理部会議において、インシデントの集計、分析、再発防止策を検討し、立案した安全対策を審議する。 4. 医療安全管理部会議において審議された内容を、医療安全管理委員会にて報告・審議を行う。 5. リスクマネジャー会議において医療安全管理委員会及び医療安全管理部の講じた対策等の情報を周知し、各現場に浸透させる。 6. 安全対策を現場にフィードバックした後、現場巡視し実施状況を確認し評価する。(PDCAサイクルを回す) 7. Safetyニュース発行(毎月)：その月のトピックスを掲載し職員に注意喚起する。 8. 安全対策マニュアルの見直し(年1回)：最新の医療水準に基づいて、内容の見直しを毎年実施している。(RM全員と共に行っている。) 9. 医療安全に関する患者からの苦情対応を行う。	
⑤ 専任の医療に係る安全管理を行う者の配置状況	有( 1 名)・無
⑥ 専任の院内感染対策を行う者の配置状況	有( 1 名)・無
⑦ 医療に係る安全管理を行う部門の設置状況	有・無
・ 所属職員：専任(1)名 兼任(21)名 ・ 活動の主な内容： 病院長の下に組織横断的に院内の安全管理を担い、医療安全管理委員会において審議する事項(上記②)に関して、調査、資料作成等を行うとともに、審議結果等に基づく安全管理を実施する。また、医療安全管理委員会に対して安全管理に関する提言を行う。	
⑧ 当該病院内に患者からの安全管理に係る相談に適切に応じる体制の確保状況	有・無

(様式第 13-2)

院内感染対策のための体制の確保に係る措置

① 院内感染対策のための指針の策定状況	有・無
・ 指針の主な内容：別紙③のとおり	
② 院内感染対策のための委員会の開催状況	年 1 1 回
・ 活動の主な内容： (1) 院内感染の調査、予防及び防止に関すること。 (2) 感染予防の実施、監視及び指導に関すること。 (3) 感染症発生時の措置に関すること。 (4) 院内職員の教育及び啓蒙に関すること。 (5) 消毒剤の使用に関すること。 (6) HIV感染及びAIDSに係る職員の教育・啓蒙に関すること。 (7) HIV・AIDS診療に従事する人材の育成に関すること。 (8) HIV・AIDS診療に係る県内各拠点病院との連携の実施に関すること。 (9) その他感染予防に関すること。	
③ 従業者に対する院内感染対策のための研修の実施状況	年 2 回 + 採用時 + 適宜
・ 研修の主な内容： ・ 手指衛生と手荒れ対策 ・ 当院で問題となる薬剤耐性菌とその検出状況 ・ 感染対策室について ・ 感染予防の基礎知識 ・ 感染予防策の基本 ・ 標準予防策 ・ 手洗い・個人防護具の装備 ・ 廃棄物処理 ・ 針刺し発生時の対応 ・ 針刺し防止の指導 ・ 院内感染防止の実際 ・ 洗浄・消毒・滅菌 ・ 知っておきたい微生物 ・ これだけは譲れない感染対策 ・ 医療行為別感染防止 ・ 静脈注射における感染対策 ・ 病棟での手洗い ・ これだけは知っておきたい感染対策 ・ 手術室における感染対策について	
④ 感染症の発生状況の報告その他の院内感染対策の推進を目的とした改善のための方策の状況	（有・無） ・ 病院における発生状況の報告等の整備 ・ その他の改善のための方策の主な内容： 感染対策室員会議、感染制御委員会で各病棟毎にMRSA等耐性菌の検出状況を報告し、どのような対策が講じられているかを調査している。この結果を院内の各委員に報告、フィードバックしている。 感染症発生報告の内容によってICNが現場へ出向き対応、指導を行う。必要に応じてICTが招集され対策を検討、ICN・ICD・ICTが協力して対応にあたる。適宜、病院長、感染制御委員会、各関係会議等へ報告を行う。

(様式第 13-2)

医薬品に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医薬品の使用に係る安全な管理のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医薬品の安全使用のための研修の実施状況	年12回
・ 研修の主な内容： 医薬品の安全使用を目的とし、各病棟職員または病院職員全体を対象とした研修を行っている。	
③ 医薬品の安全使用のための業務に関する手順書の作成及び当該手順書に基づく業務の実施状況	
・ 手順書の作成 (有・無) ・ 業務の主な内容： 1) 医薬品の採用と購入 2) 医薬品の管理 3) 投薬指示と調剤 4) 患者に対する服薬指導 5) 医薬品の安全使用に係る情報の取り扱い(収集・提供) 6) 他施設との連携の各業務について適正に実施している。	
④ 医薬品の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医薬品の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
・ 医薬品に係る情報の収集の整備 (有・無) ・ その他の改善のための方策の主な内容： 1) 薬剤部ニュース(月1回)を全診療科に配布している。 2) 急を要する連絡は文書と院内Webで通知している。 3) 薬事委員会で院内採用薬の見直しを行っている。 4) 院内での副作用発生事例については情報を収集し、厚生労働省および当該医薬品メーカーへ報告を行っている。 5) 医薬品安全管理委員会(薬事委員会)を設置、年4回開催している。	

(様式第 13-2)

医療機器に係る安全管理のための体制の確保に係る措置

① 医療機器の安全使用のための責任者の配置状況	有・無
② 従業者に対する医療機器の安全使用のための研修の実施状況	年100回
<p>・ 研修の主な内容：</p> <p>業者の協力を得て、新しい医療機器の使用が予定される部署、職員等を対象に研修を実施している。</p>	
③ 医療機器の保守点検に関する計画の策定及び保守点検の実施状況	
<p>・ 計画の策定 (有・無)</p> <p>・ 保守点検の主な内容：</p> <p>機種別に保守点検の周期を設け、定期的に点検を実施し、記録を保存している。業務委託による保守点検においては実施状況等の記録を保存し、管理状況を把握している。</p>	
④ 医療機器の安全使用のために必要となる情報の収集その他の医療機器の安全使用を目的とした改善のための方策の実施状況	
<p>・ 医療機器に係る情報の収集の整備 (有・無)</p> <p>・ その他の改善のための方策の主な内容：</p> <p>ニュース「ME機器管理センターからのお知らせ」を説明のうえ、各病棟、部署に配布している。必要に応じてリスクマネージャ会議で周知徹底を行っている。また、人工心肺装置及び補助循環装置等、対象部署が限局される事項については、その都度通知文を回覧し周知徹底している。K-MINDにてマニュアル、添付文書、ニュース、お知らせを掲載している。</p>	

# 1. 安全管理のための基本方針

本院は、患者さんが安心して医療を受けられる環境を整え、各医療現場において安全  
確実な医療を実践・教育する。

医療事故の絶無を期して、現場における責任体制を明確にし、医療事故防止のため  
の安全管理体制を病院全体で取り組み確立する。

## 1 安全管理のための委員会

安全管理及び医療事故の防止・対策について審議するため、医療安全管理委員会を置く。

## 2 医療安全管理部

医療安全管理委員会が講じた安全対策をリスクマネジャーを通じて速やかに実践徹底させると  
共に、医療安全管理委員会に安全対策を提言する。

## 3 専任リスクマネジャー

本院全体の医療事故防止及び安全管理の任に当たらせるため、医療安全管理部に専任リスクマネ  
ジャーを置く。

## 4 リスクマネジャー

医療安全管理委員会及び医療安全管理部が講じた安全対策等の情報を、各医療現場に浸透させ  
るため、また、各医療現場で発生した医療事故及びインシデントの報告及び医療事故防止に関する  
問題点等を医療安全管理部及び医療安全管理委員会の審議に反映させるため、各科(部)等にリ  
スクマネジャーを置く。

## 5 安全管理のための職員教育及び研修

医療事故防止手法などの安全管理に関する教育を行うと共に、職員研修を開催する。

## 6 医療事故発生時の対応

医療事故に関する情報は、速やかに、病院長及び医療安全管理部長に連絡し、報告書を提出する。  
医療安全管理委員会は報告書に基づいて、内容・実状を把握し、対応・改善を協議する。

## 7 安全対策マニュアル

病院関係職員の医療事故防止のため、「安全対策マニュアル」を作成し、周知徹底を図る。  
なお、状況等により随時見直しを行うものとする。

## 8 医薬品安全管理責任者

本院全体の医薬品の安全使用の任に当たらせるため、薬剤部に医薬品安全管理責任者を置く。

## 9 医療機器安全管理責任者

本院全体の医療機器の安全使用の任に当たらせるため、ME機器管理センターに医療機器安全  
管理責任者を置く。

## 10 患者相談

患者さんからの医療安全管理に関する相談に対して、誠実に対応する。

## 11 その他

安全管理のための方策を検討し、医療事故防止に努める。

本指針は、患者さん及びその家族等から閲覧の求めがあった場合には、これに応じるものとする。

## 平成24年度安全管理のための職員研修実施報告

	実施日	対象職員	参加人数	時間	内容
1 卒後臨床研修 オリエンテーション	3月26日	新採用研修医	40名	60分	講義「本院の安全管理体制について」
					講師 医療安全管理部 寛 部長
					講義「インシデントレポートの目的・意義・入力方法」
					講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
2 新採用者 オリエンテーション	3月27日	新採用放射線技師	4名	30分	講義「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの目的・意義・入力方法」
					講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
3 新採用者 オリエンテーション	4月3日	新採用看護職員	70名	45分	講義「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの目的・意義・入力方法」
					講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
4 安全管理研修(講義)	4月3日	看護職員復帰者・ 中途採用者	5名	45分	講義「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの目的・意義・入力方法」
					講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
5 安全管理研修(講義)	4月17日	リスクマネジャー	9名	30分	講義「リスクマネジャー就任時オリエンテーション」
					講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
6 新採用者 オリエンテーション	4月20日	新採用コメディカル	3名	30分	講義「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの目的・意義・入力方法」
					講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
7 新採用者 オリエンテーション	4月23日	新採用コメディカル	7名	30分	講義「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの目的・意義・入力方法」
					講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
8 新採用者 オリエンテーション	4月23～27日	新採用看護職員	65名	40時間	講義「静脈注射・輸液ポンプなど」技術演習
					講師 :看護部教育委員
9 安全管理研修(講義)	5月2日	看護職員中途採用者	2名	30分	講義「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの入力方法」
					講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
10 新採用者 オリエンテーション	5月25日	新採用医師	50名	30分	講義「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの入力方法」
					講師 医療安全管理部 外形専任RM
11 安全管理研修(講義)	5月22日	全職員	632名	60分	講義「平成23年度インシデント集計及び安全対策報告、 みんなで考えよう医療事故防止対策(DVD)」
					講師 医療安全管理部長 寛 善行・外形専任RM・豊嶋専任RM
	6月5,6,8,11,14日	ビデオ上映会	369名	60分	
12 安全管理研修(講義)	5月29日	新採用看護師 (2回目)	60名	180分	講義「新採用者のインシデント傾向と再発予防策」
					講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
13 新採用者 オリエンテーション	6月1日	新採用看護補助者	10名	30分	講義「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの目的・意義・入力方法」
					講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
14 安全管理研修(講義)	6月1日	看護職員復帰者・ 中途採用者	2名	30分	講義「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの入力方法」
					講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
15 安全管理研修(講義)	6月5日	全職員	483名	60分	講義「要注意薬の取り扱いについて」
					講師 「眠剤の適正使用情報」 日本ベーリンガーインゲルハイム株式会社 香川徳島営業所 岡本 直樹 氏 「臨床における眠剤の安全使用について」 精神科神経科 新野 秀人 准教授
16 安全管理研修(講義)	7月3日	看護職員復帰者・ 中途採用者	2名	30分	講義「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの入力方法」
					講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
17 新採用者 オリエンテーション	7月23日	新採用看護補助者	3名	60分	講義「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの目的・意義・入力方法」
					講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
18 医療安全研修(講義)	7月24日	看護職員	71名	60分	講義「医療職の法的責任について(横浜市立大病院の患者取り扱い事例を通して)」
					講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM

## (別紙2)

	実施日	対象職員	参加人数	時間	内容	
19	安全管理研修(講義)	7月31日	全職員	443名	60分	講義 (1)蘇生バッグの取り扱いについて (2)モニタ・アラームと安全管理 講師 (1)アイ・エム・アイ株式会社 古川 晴久 (2)日本光電九州株式会社 千蔵 正彦
20	新採用者 オリエンテーション	8月21日	新採用看護補助者	3名	60分	講義 「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの目的・意義・入力方法」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
21	医療安全研修(講義)	8月21日	看護職員	68名	60分	講義 「医療職の法的責任について(爪のケアに関する刑事事件経緯と支援の実際)」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
22	安全管理研修(講義)	9月3日	看護職員 中途採用者	1名	30分	講義 「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの入力方法」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
23	安全管理研修(講義)	9月12日	全職員	547名	60分	講義 「最近の医事関係紛争について」 講師 川崎達夫法律事務所 川崎 達夫 弁護士
		10月1,2,3,5日	ビデオ上映会	381名	60分	
24	安全管理研修(講義)	9月18日	リスクマネジャー	1名	30分	講義 「リスクマネジャー就任時オリエンテーション」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
25	医療安全研修(講義)	9月25日	看護職員	47名	60分	講義 「コミュニケーションスキルについて学ぶ(SBAR)」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
26	安全管理研修(講義)	10月10日	医師 研修医	19名	120分	講義 「CVカテーテル挿入実技研修」 講師 日本コヴィディエン株式会社 小川勝巳 医療安全管理部 舛形専任RM
27	安全管理研修(講義)	10月16日	リスクマネジャー	3名	30分	講義 「リスクマネジャー就任時オリエンテーション」 講師 医療安全管理部 豊嶋
28	安全管理研修(講義)	10月16日	全職員	470名	60分	講義 「要注意薬の取り扱いについて」 講師 「KCL注の安全使用」 テルモ(株)学術担当者 「筋弛緩薬の安全使用について」 麻酔・ペインクリニック科 助教 古泉 真理
29	安全管理研修(講義)	10月18日	医師 研修医	33名	120分	講義 「CVカテーテル挿入実技研修」 講師 日本コヴィディエン株式会社 小川勝巳 医療安全管理部 舛形専任RM
30	安全管理研修(講義)	11月1日	看護職員 中途採用者	1名	60分	講義 「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの入力方法」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
31	安全管理研修(講義)	11月2日	患者サービス課 中途採用者 (事務補佐員)	1名	30分	講義 ①「医療安全体制とインシデントレポート入力方法について」 ②「事務職員のインシデントを振り返る」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
32	安全管理研修(講義)	11月2日	患者サービス課 外注職員(ニチイ学館)	23名	30分	講義 ①「医療安全体制とインシデントレポート入力方法について」 ②「事務職員のインシデントを振り返る」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
33	安全管理研修(講義)	11月6日	医師 看護師	441名	60分	講義 「周術期の管理(気管切開術後)」 講師 呼吸器・乳腺内分泌外科 後藤 正司 東病棟3階 看護師 脇坂 真弓
34	安全管理研修(講義)	11月20日 11月28日	医師・看護師・ 放射線技師	376名	60分	講義 「医療ガスの取り扱い等について」 講師 管理課施設係
35	安全管理研修(講義)	11月26日	医師 研修医	22名	120分	講義 「CVカテーテル挿入実技研修」 講師 日本コヴィディエン株式会社 小川勝巳 医療安全管理部 舛形専任RM



## (別紙2)

	実施日	対象職員	参加人数	時間	内容
36	安全管理研修(講義)	11月27日 全職員	444名	60分	講義 (1)医療安全の観点から見直す基礎知識 (2)トラブル事例から考える輸液ポンプ・シリンジポンプの使用上の注意点 講師 (1)コヴィディエンジャパン株式会社 クリニカルサポート課 丸林 美起 (2)株式会社 ムトウテクノス 牛込 陽一
37	安全管理研修(講義)	12月4日 看護職員復帰者・ 中途採用者	4名	60分	講義 「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの入力方法」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
38	新採用者 オリエンテーション	12月4日 新採用看護補助者	7名	60分	講義 「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの目的・意義・入力方法」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
39	安全管理研修(講義)	12月7日 医師 研修医	7名	120分	講義 「CVカテーテル挿入実技研修」 講師 日本コヴィディエン株式会社 小川勝巳 医療安全管理部 舛形専任RM
40	安全管理研修(講義)	12月14日 患者サービス課 外注職員(ニチイ学 館)	22名	60分	講義 「事務職員のインシデントを振り返る」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
41	安全管理研修(講義)	1月4日 看護職員 中途採用者	1名	60分	講義 「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの入力方法」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
42	新採用者 オリエンテーション	1月8日 新採用看護補助者	4名	40分	講義 「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの目的・意義・入力方法」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
43	安全管理研修(講義)	1月15日 リスクマネジャー	2名	30分	講義 「リスクマネジャー就任時オリエンテーション」 講師 医療安全管理部 豊嶋
44	安全管理研修(講義)	1月16日 リスクマネジャー	2名	30分	講義 「リスクマネジャー就任時オリエンテーション」 講師 医療安全管理部 豊嶋
45	安全管理研修(講義)	1月17日 患者サービス課 (外来係・外注職員)	2名	30分	講義 ①「医療安全体制とインシデントレポート入力方法について」 ②「事務職員のインシデントを振り返る」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
46	安全管理研修(講義)	1月18日 患者サービス課 (外来係・外注職員)	2名	30分	講義 ①「医療安全体制とインシデントレポート入力方法について」 ②「事務職員のインシデントを振り返る」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
47	新採用者 オリエンテーション	1月21日 新採用看護補助者	2名	40分	講義 「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの目的・意義・入力方法」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
48	安全管理研修(講義)	1月23日 看護職員 (W2・MFICU)	19名	60分	講義 「SBARTレーニング」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
49	新採用者 オリエンテーション	1月25日 中途採用医師 コメディカル	10名	30分	講義 「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの入力方法」 講師 医療安全管理部 舛形専任RM
50	医療安全研修(講義)	1月28日 看護職員	54名	120分	講義 「根本分析(RCA)演習」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
51	新採用者 オリエンテーション	2月7日 中途採用医師	2名	30分	講義 「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの入力方法」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
52	新採用者 オリエンテーション	2月8日 コメディカル	1名	30分	講義 「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの入力方法」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
53	安全管理研修(講義)	3月1日 看護職員復帰者	3名	60分	講義 「本院の安全管理体制について、インシデントレポートの入力方法」 講師 医療安全管理部 豊嶋専任RM
54	安全管理研修(講義)	3月5日 医師 看護師	401名	60分	講義 「腎瘻と尿管ステント」 講師 泌尿器・副腎移植外科 杉元 幹史 東病棟5階 橋田 由吏 外来 川田 通子
55	安全管理研修(講義)	3月14日 医師 看護師 コメディカル	338名	60分	講義 (1)核医学における放射線安全管理 (2)あなたのちよつとした気づきが 患者を 職員を 事故から救う 講師 (1)放射線部 主任診療放射線技師 岩崎 孝信 (2)放射線部 副部長 中野 寛

## 院内感染対策のための指針

香川大学医学部附属病院は、病院の理念に基づき、感染防止および感染制御の対策に取り組むことで、患者および病院職員に安全で快適な医療環境を提供する。

そのための基本的な考え方を以下に定める。

### 1. 院内感染対策に関する基本的な考え方

院内感染の発生を未然に防ぎ、感染症発生時に拡大を防止するためには、その原因を速やかに特定し、早期に制圧することが重要である。そのため、院内感染防止対策を職員全員が把握し、病院の理念に則った医療が提供できるよう取り組む。

### 2. 院内感染対策の推進のために必要な基本方針

職員は、感染対策マニュアルに沿って、手洗いの徹底、マスク、手袋等の着用など、常に感染予防策の遵守に努める。

職員は、自らが院内感染源とならないよう、定期健康診断を受診し、健康管理に努める。

感染対策マニュアルは、定期的に見直しを行い、病院職員へ周知徹底を図る。

### 3. 院内感染対策のための委員会等の組織に関する基本的事項

香川大学医学部附属病院感染制御委員会規定に基づき、感染制御委員会を設置し、院内感染の調査、感染予防の実施、発生時の措置等に関する審議・決定を行う。

院内感染等の発生防止に関する業務を迅速かつ機能的に実行するために感染対策室を設置する。

### 4. 院内感染対策のための職員研修に関する基本方針

院内感染防止対策の基本的な考え方および防止対策に対する意識の向上を図るために、全病院職員対象の研修会を年 2 回開催するほか、必要に応じて随時開催する。研修の開催結果を記録し、保存する。

### 5. 院内感染症の発生状況の報告に関する基本方針

耐性菌及び市中感染症等の院内発生に伴う感染拡大を防止するため、感染症発生状況を感染制御委員会及び感染対策室を通じて病院職員に定期的に通知する。また、感染症コントロールシステムにより、随時情報提供を行う。

### 6. 院内感染発生時の対応に関する基本方針

院内感染が発生した部署の病院職員は、直ちに感染対策室へ報告する。感染対策室は、状況および対応を病院長ならびに感染制御委員会に報告する。

感染対策室および発生部署の病院職員は、速やかに発生の原因を究明し、改善策を立案し実施する。

感染対策室は、発生状況および改善策の実施結果について感染制御委員会、電子メールおよび紙媒体を通じて全職員に速やかに周知する。

### 7. 患者等に対する本指針の閲覧に関する基本方針

本指針は、感染対策マニュアルおよびホームページに掲載する。